



写真で見る第14回学会大会

日本災害情報学会は、第14回学会大会（研究発表会、総会など・実行委員長：田中淳東京大学大学院総合防災情報研究センター所長・教授）を10月27日、28日の日程で、東京大学（情報学環・福武ホール）で開催した。大会は、初の取り組みとなるポスターセッションも含め過去最多の98件の研究発表が行われるなど、324名（過去最多）が参加する実りあるものとなった。

- 10月27日（土）受付開始 8：45～
- 開会 9：30～
- 研究発表 9：40～11：50 A会場：福武ラーニングシアター B会場：福武ラーニングスタジオ
- 昼休み 11：50～13：30
- （ポスターセッション・メディアセッション 13：30～14：50 ホワイエほか）
- 研究発表 13：30～17：50 A会場：福武ラーニングシアター B会場：福武ラーニングスタジオ
- 懇親会 18：30～20：00 Capo PELLICANO
- 10月28日（日）受付開始 8：30～
- 研究発表 9：00～11：50 A会場：福武ラーニングシアター B会場：福武ラーニングスタジオ
- 招待講演 12：00～12：30 A会場：福武ラーニングシアター
- 昼休み 12：30～13：30
- 総会 13：30～14：10 A会場：福武ラーニングシアター
- 廣井賞授賞式・受賞講演 14：10～15：00 A会場：福武ラーニングシアター
- 大会記念シンポジウム 15：00～17：30 A会場：福武ラーニングシアター
- 閉会 17：30

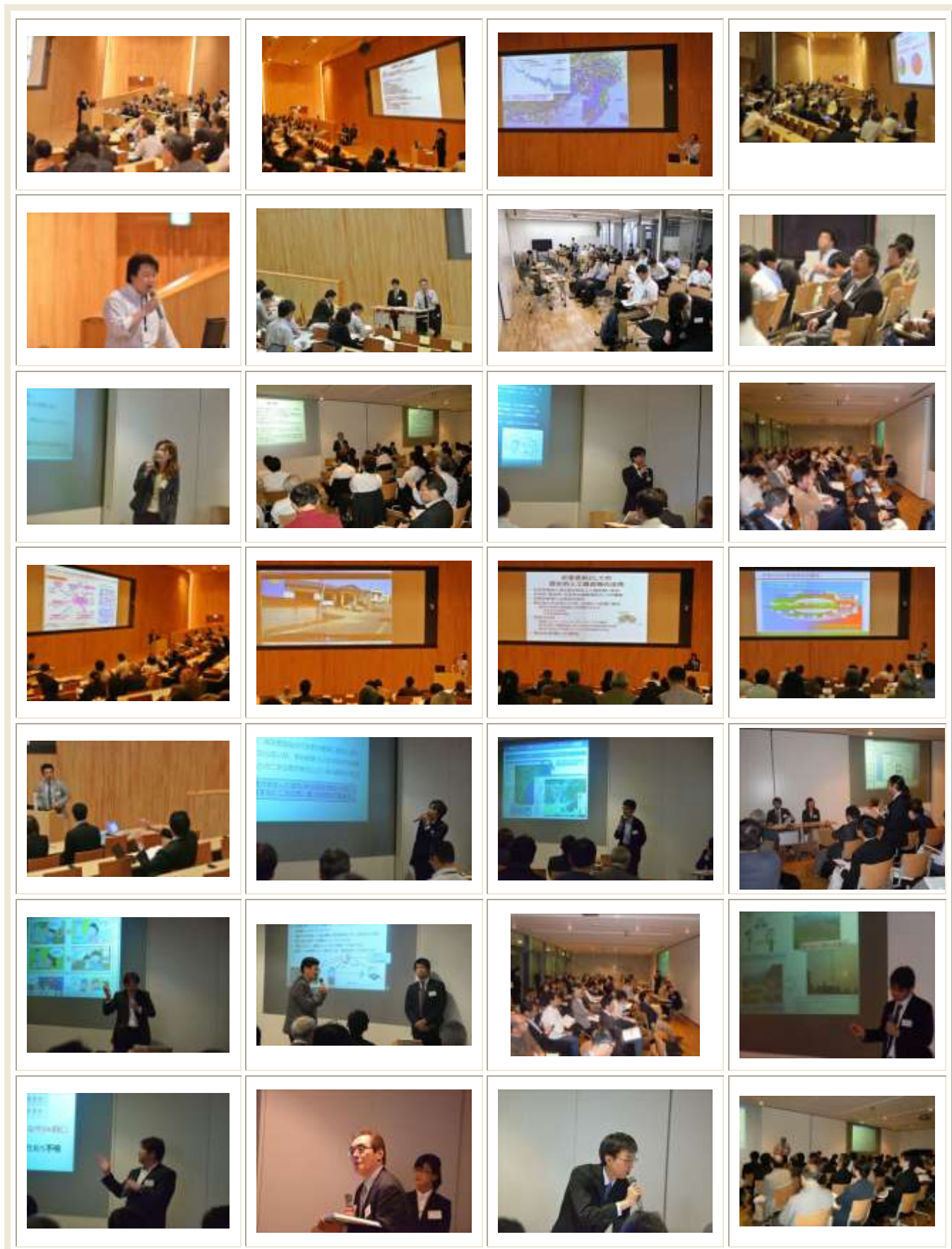


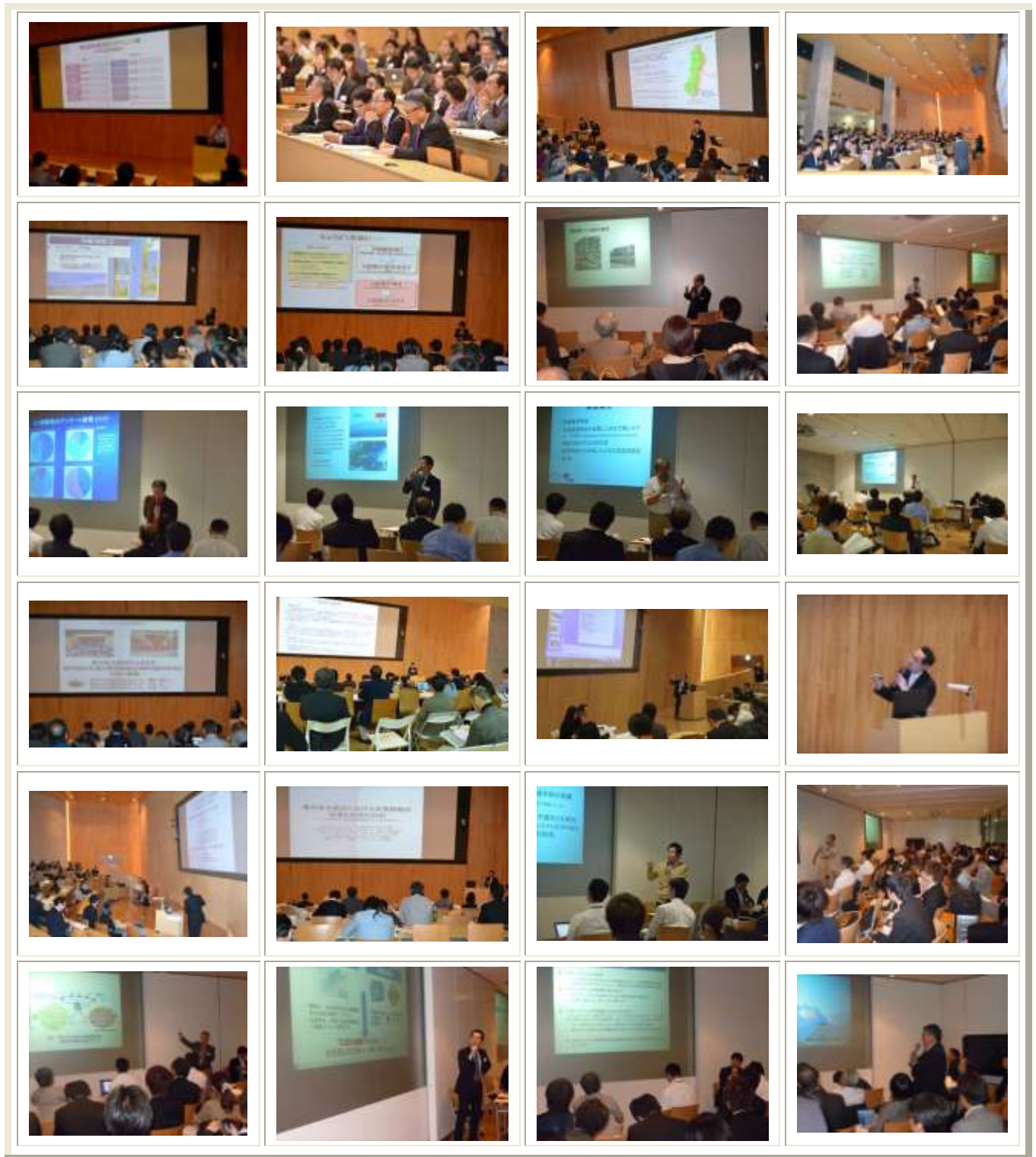
過去最多の324名が参加！

写真で見る学会大会2012



研究発表会 10月27日 [A, B2会場で開催]





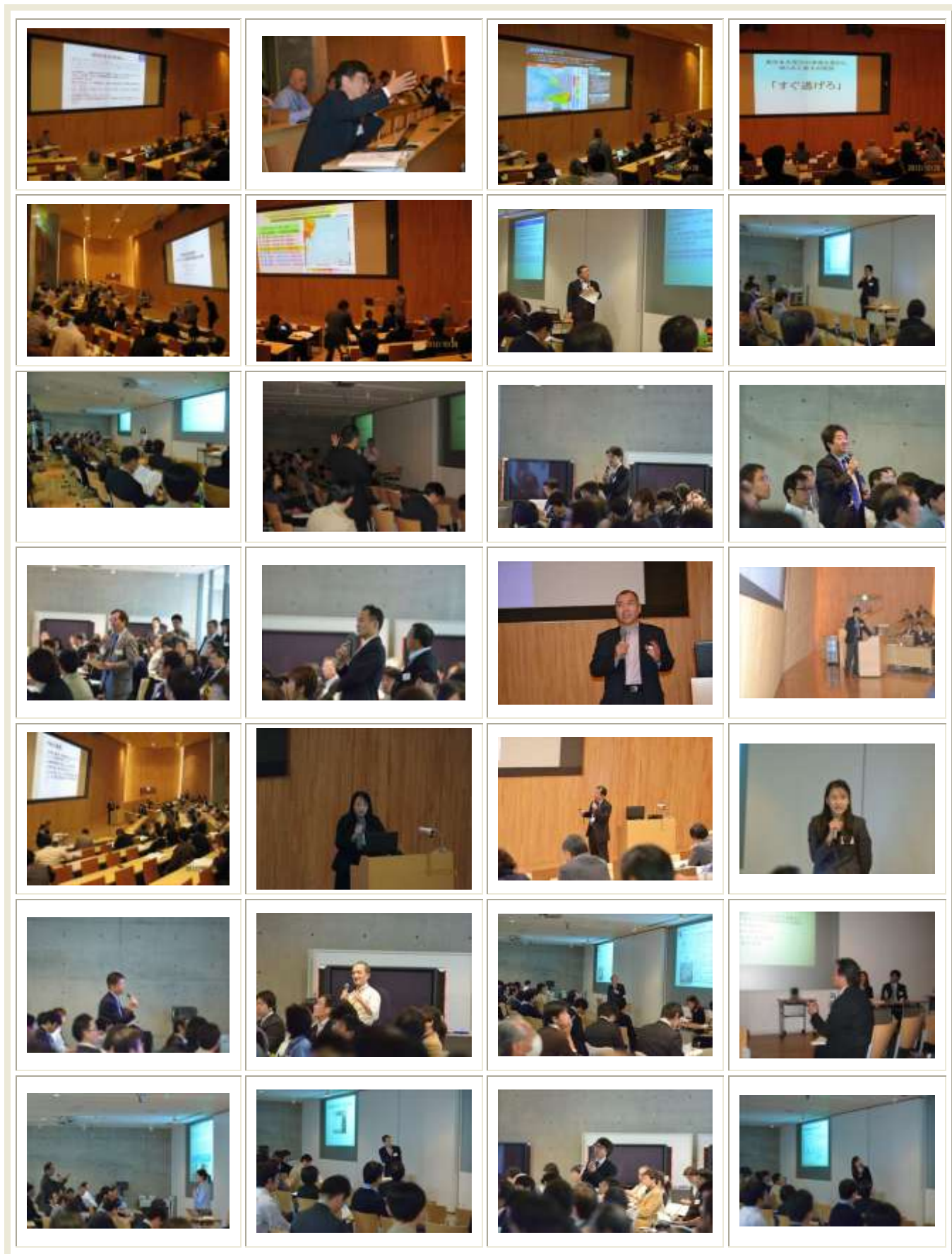
ポスターセッション・メディアセッション【ホワイエほかで開催】



懇親会 [東京大学医学部研究棟 13 階 Capo PELLICANO <カポ・ペリカーノ>]



研究発表会 10月28日 [A, B2会場で開催]



招待講演 (韓国災難情報学会)

「A study of the disaster protection resources management framework in Korea」

ChangYeol Lee(Donggeui University, South Korea)

GilJoo Park(Metarights Inc., Korea)

TaeHwan Kim (YongIn University, South Korea)

ChangSoo Lee(Seoul City University, South Korea)



総会



廣井賞授賞式・受賞講演

日本災害情報学会は 2006 年、初代会長の故廣井脩氏（元東京大学大学院教授）の志を後世に伝えるため廣井賞を創設し、6 回目の授賞式を 10 月 28 日、学会大会席上で行った。

今年栄誉に輝いたのは社会的功績分野の 2 件（学術的功績分野は該当なし）。

ニッポン放送は、大災害時に AM ラジオを通じて児童・生徒の安否を学校単位で伝える独自の仕組みで、東京・神奈川の私立学校協会などと提携して 1981 年に開始して以来、毎年、受付訓練や模擬放送を行ってきた。東日本大震災で帰宅困難に陥った際、各校に残留する児童・生徒の安否情報を各家庭に伝え、保護者に多くの安心を届けた。昨今の IT の進歩をもってしても停電や輻そうの影響、信憑性などの面からオールマイティな伝達方法はなく、今後さらなる発展が期待される。

防災推進機構、本田技研工業、ITS Japan は、カーナビのリアルタイムプローブデータを用い、大災害発生時に重要な情報である通行可能な道路情報を迅速に提供する「通れた道路マップ」を、2007 年新潟県中越沖地震や東日本大震災などで一般向けに配信して、その有効性を実証した。三者が協力しあって実現した独創的な技術開発と実用化、民間ベースの社会貢献の実践といえ、災害情報分野におけるイノベーションとして高く評価される。今後、官民連携した社会システムとして定着化することが期待される。



大会記念シンポジウム [A会場で開催]

「災害情報と防災教育 これまでとこれから」

登壇者：大牟田智佐子（毎日放送）

片田敏孝（群馬大学広域首都圏防災研究センター）

中村 功（東洋大学社会学部）

中森広道（日本大学文理学部）

矢守克也（京都大学防災研究所）

討論コーディネーター：秦康範（山梨大学地域防災・マネジメント研究センター）



PHOTO by SUMI, NAKATSUJI, NINOMIYA, NAKAMURA(N), KURODA, NAKAJIMA, KUBOTA, YAMASHITA, TAKADA, YOSHIDA, SASAKURA and OHTSUKI